

# 2017年3月期第3四半期 ご参考資料

日本通運株式会社  
経営企画部(IR)

I. 経営状況	
A. 2017年3月期第3四半期決算の概要	P. 1
B. セグメント別状況	P. 2-
II. 外部環境の変化	
A. 増減要素(3Q累計)	P. 6
B. 外部要因の想定(過期)	P. 7

2017年1月31日

# I. 経営状況



## A. 2017年3月期第3四半期決算の概要

### 1) 概要（連結）

（単位：億円、％）

	2017/3期 3Q実績 ①	2016/3期 3Q実績 ②	増減額 (前年比) ③=①-②	増減率 (前年比) ④=③÷②×100	通期 業績予想 (16/7/29発表) ⑤	進捗率 ①÷⑤×100	差額 ⑤-①	
累計	売上高	13,804	14,348	△544	△3.8	18,440	74.9	4,635
	営業利益	398	385	13	3.5	570	69.9	171
	経常利益	450	450	0	0.1	630	71.5	179
	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	287	273	13	5.0	360	79.9	72
単 四 半 期	売上高	4,711	4,816	△104	△2.2			
	営業利益	153	153	0	0.1			
	経常利益	169	173	△4	△2.7			
	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	104	121	△17	△14.1			

### 2) 第3四半期累計 連結経営指標 ( )は前年同期実績

（億円未満切捨て）

・売上高営業利益率 2.9％（2.7％） ・売上高経常利益率 3.3％（3.1％）

【ご参考】 ( )は前年度実績

・ROA 2.4％（2.4％） ・ROE 6.9％（6.8％）

※ 当期純利益は通期予想、自己資本および総資産は前連結会計年度末と当連結会計期間末の平均値を使用し算出しております。

#### ◇事業環境に関する認識と確認（経済環境）

緩やかな回復基調が続いているものの、米国の新政権による政策動向や、欧州における政情不安といった国際情勢の不確実性などにより、先行き不透明な状況で推移。

#### ◇事業環境に関する認識と確認（物流業界の状況）

国内貨物は、個人消費の伸び悩みなどから、依然として、総輸送量は前年を下回り、国際貨物は、航空輸出貨物に持ち直しの動きがみられたものの、円高や海外経済減速の影響などにより、荷動きに力強さを欠くなど、総じて低調に推移。

# I. 経営状況



## B. セグメント別状況

### 1) 日本

(単位：億円、%)

	実績	前年同期対比		通期予想 (17/1/31発表)	通期予想 (16/7/29発表)	増減額	増減率		
		17/3期	16/3期					増減額	増減率
3Q累計	売上高	8,639	8,668	△29	△0.3	11,374	11,374	-	-
	セグメント利益	278	252	26	10.3	405	405	-	-
3Q単四半期	売上高	2,976	2,936	39	1.3	3Q単四半期営業利益率(前年同期)			
	セグメント利益	113	109	4	4.0	3.8 (3.7)			
	概況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・航空輸出は、アジア向けの液晶関連や電子部品の取扱いが伸長</li> <li>・M&amp;Aによりグループに加わっている連結会社が、売上・利益面ともに貢献</li> <li>・利用運送費や外注費などのコントロール、燃油費の減少により、増益</li> </ul>							

### 2) 米州

(単位：億円、%)

	実績	前年同期対比		通期予想 (17/1/31発表)	通期予想 (16/7/29発表)	増減額	増減率		
		17/3期	16/3期					増減額	増減率
3Q累計	売上高	615	714	△98	△13.8	856	856	-	-
	セグメント利益	35	40	△5	△12.4	44	44	-	-
3Q単四半期	売上高	196	231	△34	△15.0	3Q単四半期営業利益率(前年同期)			
	セグメント利益	11	13	△2	△15.1	5.8 (5.8)			
	概況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現地通貨ベースにおいては、増収、増益</li> <li>・自動車関連の米国-メキシコ間のトラック輸送、メキシコでの倉庫配送が、好調に推移</li> <li>・海運・輸入フォワーディングは、前年にあった設備関連の取扱いの反動により、減少</li> </ul>							

Copyright © 2017 NIPPON EXPRESS, All rights reserved.

2017年3月期第3四半期 ご参考資料

2

※以下、セグメント毎の概況は、第3四半期単四半期の内容

「海外会社」の第3四半期は、7-9月期

#### ◇日本・・・増収、増益

鉄道は、自動車や飲料関連顧客の出荷増に伴う輸送需要を取り込んだが、昨年夏の台風上陸の影響に伴う、北海道での農産物の出荷減が影響し、減収。

トラック輸送では、荷動きが依然として低調に推移したが、ワンストップ営業、アカウント営業により、顧客需要に応じた輸送サービスを提供し、自動車関連や飲料関連顧客の取扱いが伸長。

海運は、前年にあった設備関連の輸出の反動による影響が大きく、減収。

倉庫は、大口顧客の取扱いが縮小し、減収。

通販関連などのロジスティクス業務の取扱いが順調に推移。

航空は、輸出が大きく伸長。

特にアジア向けの液晶関連や電子部品の取扱いが伸長。

米州向けも自動車関連を中心に堅調に推移。

輸出貨物の重量は、対前年で、全体で プラス22.8%。

方面別では、米州地域向けが、プラス15.1%、欧州地域向けが、マイナス2.7%、アジア・オセアニア地域向けが、プラス34.9%。

輸入は、生鮮貨物や医薬品関連の荷動きが堅調に推移し、増収。

M&Aによりグループに加わっている連結会社が、売上・利益面ともに貢献。

利用運送費、外注費をはじめ、各種費用を、物流需要に応じてコントロールしたほか、燃油費の減少による効果もあり、増益。

#### ◇米州・・・減収、減益

為替の影響を除いた現地通貨ベースでは、増収、増益。

自動車関連の米国-メキシコ間のトラック輸送、メキシコでの倉庫配送が、好調に推移。

海運・輸入フォワーディングは、前年にあった設備関連取扱いの反動により、減少。

# I. 経営状況



## B. セグメント別状況

### 3) 欧州

(単位: 億円、%)

	実績	前年同期対比		通期予想 (17/1/31発表)	通期予想 (16/7/29発表)	増減額	増減率		
		17/3期	16/3期					増減額	増減率
3Q累計	売上高	575	618	△43	△7.1	792	792	-	-
	セグメント利益	13	10	3	32.3	19	19	-	-
3Q単四半期	売上高	183	208	△24	△11.8	3Q単四半期営業利益率(前年同期)			
	セグメント利益	4	3	1	54.6	2.7 (1.5)			
	概況	・現地通貨ベースにおいては、増収、増益 ・倉庫配送が、既存顧客の取扱い拡大に加えて、新規顧客の獲得により、伸長 ・航空・輸出入フォワーディングにおいて、自動車関連や医薬品などの取扱いが、堅調に推移							

### 4) 東アジア

(単位: 億円、%)

	実績	前年同期対比		通期予想 (17/1/31発表)	通期予想 (16/7/29発表)	増減額	増減率		
		17/3期	16/3期					増減額	増減率
3Q累計	売上高	707	868	△161	△18.6	1,001	1,001	-	-
	セグメント利益	8	12	△4	△32.9	13	16	△3	△18.8
3Q単四半期	売上高	230	293	△62	△21.4	3Q単四半期営業利益率(前年同期)			
	セグメント利益	2	6	△4	△65.4	1.0 (2.2)			
	概況	・現地通貨ベースにおいても、減収、減益 ・中国では、自動車関連の倉庫配送が堅調に推移するも、航空・輸出フォワーディングが、前年スポットの反動により、減少 ・香港では、倉庫業務や航空・輸出フォワーディングの取扱いが減少							

Copyright © 2017 NIPPON EXPRESS, All rights reserved.

2017年3月期第3四半期 ご参考資料

3

#### ◇欧州・・・減収、増益

為替の影響を除いた現地通貨ベースでは、増収、増益。

倉庫配送が、既存顧客の取扱い拡大に加え、オランダやイギリスでの新規顧客の獲得により、伸長。

フランス、イタリアでは、航空・輸出入フォワーディングにおいて、自動車関連や医薬品などの取扱いが、堅調に推移。

#### ◇東アジア・・・減収、減益

為替の影響を除いた現地通貨ベースでも、減収、減益。

中国では、自動車関連の倉庫配送が堅調に推移したが、航空・輸出フォワーディングの取扱い数量の減少や前年スポットの反動が大きく影響。

香港では、倉庫業務や航空・輸出フォワーディングの取扱いが減少。

# I. 経営状況



## B. セグメント別状況

### 5) 南アジア・オセアニア

(単位：億円、%)

	実績	前年同期対比		通期予想 (17/1/31発表)	通期予想 (16/7/29発表)	増減額	増減率		
		17/3期	16/3期					増減額	増減率
3Q累計	売上高	514	538	△23	△4.4	723	723	-	-
	セグメント利益	18	11	7	65.7	22	22	-	-
3Q単四半期	売上高	172	170	2	1.6	3Q単四半期営業利益率(前年同期)			
	セグメント利益	7	2	4	183.7	4.3 (1.5)			
	概況	・現地通貨ベースにおいても、増収、増益 ・倉庫配送、航空・輸出フォワーディングの取扱いが増加 ・利用運送費、施設使用料などの削減に加え、関連会社を新規連結子会社化した効果もあり、増益							

### 6) 警備輸送

(単位：億円、%)

	実績	前年同期対比		通期予想 (17/1/31発表)	通期予想 (16/7/29発表)	増減額	増減率		
		17/3期	16/3期					増減額	増減率
3Q累計	売上高	411	405	5	1.4	543	543	-	-
	セグメント利益	6	11	△4	△42.6	10	12	△2	△16.7
3Q単四半期	売上高	137	133	3	2.6	3Q単四半期営業利益率(前年同期)			
	セグメント利益	2	4	△2	△48.9	1.6 (3.1)			
	概況	・人に関わる各種コストの増加により、減益							

#### ◇南アジア・オセアニア・・・増収、増益

為替の影響を除いた現地通貨ベースにおいても、増収、増益。

倉庫配送が、シンガポール、フィリピンをはじめ、地域全体で取扱いが伸長。

航空・輸出フォワーディングが、マレーシア、フィリピンで回復しつつあり、インドでも取扱いが伸長。

利用運送費、施設使用料などの削減に加え、第1四半期および第2四半期に  
関係会社を新規連結子会社化した効果もあり、増益。

#### ◇警備輸送・・・増収、減益

前年並みの売上を確保したものの、人に関わる各種コストの増加により、減益。



# I. 経営状況



## B. セグメント別状況

### 7) 重量品建設

(単位：億円、%)

	実績	前年同期対比		通期予想 (17/1/31発表)	通期予想 (16/7/29発表)	増減額	増減率		
		17/3期	16/3期					増減額	増減率
3Q累計	売上高	352	403	△51	△12.7	439	439	-	-
	セグメント利益	27	24	2	8.4	33	27	6	22.2
3Q単四半期	売上高	129	128	1	1.2	3Q単四半期営業利益率(前年同期)			
	セグメント利益	9	8	0	6.7	7.2 (6.8)			
	概況	・国内においては、シャットダウン・メンテナンス業務や、プラント工事が、堅調に推移 ・海外においては、前年にあった大型プラント工事の反動により、売上、利益が減少							

### 8) 物流サポート

(単位：億円、%)

	実績	前年同期対比		通期予想 (17/1/31発表)	通期予想 (16/7/29発表)	増減額	増減率		
		17/3期	16/3期					増減額	増減率
3Q累計	売上高	2,926	3,110	△183	△5.9	3,977	3,977	-	-
	セグメント利益	54	60	△5	△9.7	83	83	-	-
3Q単四半期	売上高	1,006	1,037	△31	△3.0	3Q単四半期営業利益率(前年同期)			
	セグメント利益	20	20	0	4.2	2.1 (1.9)			
	概況	・石油類の販売単価下落の影響により、減収 ・輸出梱包事業などの取扱い増加などもあり、利益を確保							

(日通商事、日通総合研究所、日通キャピタル、日通不動産他)

Copyright © 2017 NIPPON EXPRESS, All rights reserved.

2017年3月期第3四半期 参考資料

5

#### ◇重量品建設・・・増収、増益

国内においては、シャットダウン・メンテナンス業務や、プラント工事が、堅調に推移。  
海外においては、前年にあった大型プラント工事の反動が大きく影響。

#### ◇物流サポート・・・減収、増益

日通商事において、石油類の販売単価下落の影響により、売上は減少したが、  
輸出梱包事業などの取扱い増加もあり、利益を確保。

## II. 外部環境の変化



### A. 増減要素（3Q累計）

変動要素	連結業績への影響 (3Q累計)	参考
燃油費単価変動 による影響	燃油費 $\Delta 20.8$ 億円 (費用減) ※3Q単四半期 $\Delta 2.7$ 億円 (費用減)	(前年同期) 軽油 : $77.34$ 円/ℓ ( $88.78$ 円) ガソリン : $111.79$ 円/ℓ ( $125.49$ 円) 船舶重油 : $33.76$ 円/ℓ ( $46.20$ 円)
為替による影響	売上高 $\Delta 328.0$ 億円 営業利益 $\Delta 9.1$ 億円 ※3Q単四半期 売上高 $\Delta 155.4$ 億円 営業利益 $\Delta 4.7$ 億円	第3四半期累計期間平均為替レート (前年同期) USD : $108.68$ 円 ( $120.89$ 円) EUR : $121.18$ 円 ( $134.77$ 円) HKD : $14.00$ 円 ( $15.59$ 円) RMB : $16.50$ 円 ( $19.32$ 円) 「第3四半期累計期間平均為替レート」は、参考値。 決算では、四半期平均レートを各現地通貨ベースの四半期実績に適用。

## II. 外部環境の変化



### B. 外部要因の想定（通期）

変動要素	連結業績への影響 （通期）	前提条件
燃油費単価変動 による影響	燃油費 $\Delta 15.3$ 億円 （費用減） ※差引き4Q単四半期 5.4億円 （費用増）	（前期年間平均） 軽油 : 79.69円/ℓ ( 85.26円 ) ガソリン : 112.54円/ℓ ( 120.54円 ) 船舶重油 : 33.94円/ℓ ( 42.52円 ) ※参考（4Q単四半期見通し単価） 軽油 : 86.80円/ℓ ( 74.44円 )
為替による影響	売上高 $\Delta 373.0$ 億円 営業利益 $\Delta 11.6$ 億円 ※差引き4Q単四半期 売上高 $\Delta 44.9$ 億円 営業利益 $\Delta 2.5$ 億円	年間為替レート （前期年間平均） USD : 110.00円 ( 121.05円 ) EUR : 123.40円 ( 134.32円 ) HKD : 14.20円 ( 15.62円 ) RMB : 16.80円 ( 19.22円 ) 「年間為替レート」は、参考値。 決算では、四半期平均レートを各現地通貨ベースの四半期実績に適用。





本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。

また、本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではなく、今後、予告無しに変更されることがあります。

万一、この情報に基づいて、こうむったいかなる損害についても、弊社及び情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おきください。